

## 10. 第26回 Jネット勉強会報告

今回の勉強会は、初めてのアウトドアで「ハゼ釣り」です。8月23日(土)11時から、JR京葉線「市川塩浜」駅から4km弱の市川大橋近くの江戸川河口。ここは海から600m上流、川幅は200mほど、砂泥質で水は少し濁っていて、橋の下では5人ほどがシャコ獲りをしていました。釣り道具や昼食の入ったバックは、近くに置いて釣りを開始。釣り人は参加者の2人だけ。餌を付けて投入すると直ぐにブルブルッというあたり。15cmほどのハゼが釣れました。その後も入れ食いに近いほどの釣況でしたが、釣り開始直前から降り始めた小雨が、昼食後に強くなりだし12時半頃に急いで納竿しました。釣果は、12~15cmのハゼ30尾でした。パンパン釣れたのと雨で急いで納竿したので、気がついたら写真を撮るのを忘れていました。そこで9月14日(日)に2人で同じ場所へ再釣行し、写真を撮ってきました。ちなみにこの日の釣果は、2時間で10~18cmのハゼ46尾でした。夏季のハゼ釣りは、特別な技術も要らず、しかも足元でも釣れるので、子供でも大人でも楽しめます。(藤沢)



Jネットの勉強会の様子が9月4日(木)の上越タイムスに掲載されました。

※次回の勉強会は世田谷美術館の「北大路魯山人展」と上越出身者が経営する世田谷のお寿司屋さん「栄寿司総本店」のセットで計画しています。

来月の「たより」で案内します。

上越市の出身者でつくるJネット(ふるさと上越ネットワーク、和久井博会長)の第26回Jネット勉強会が8月23日に企

習が多いが、今回は夏休み最中で家族と一緒に、と企画された。学習会の企画と運営を担当する藤沢勝一郎さんは、昼前に雨にたたられ

## 江戸川河口でハゼ釣り

### 故郷の釣り思い出す

#### Jネット勉強会

川でのハゼ釣り会と銘打ったアウトドア勉強会。全国的な天候不順で参加者は3人だったが、「懐かしい故郷の釣りを思い出したのも釣果」と楽しそうだった。

会場はJR京葉線の市川塩浜駅から4キロにある江戸川の河口付近。四つの石油・石油化学コンビナートで構成する京葉臨海コンビナートの真ん中だが、千葉県工業の中核地域の景観と違い、船の出入りの遠景の手前で投げ釣りやシャコ取りの岸边の光景がのどか。

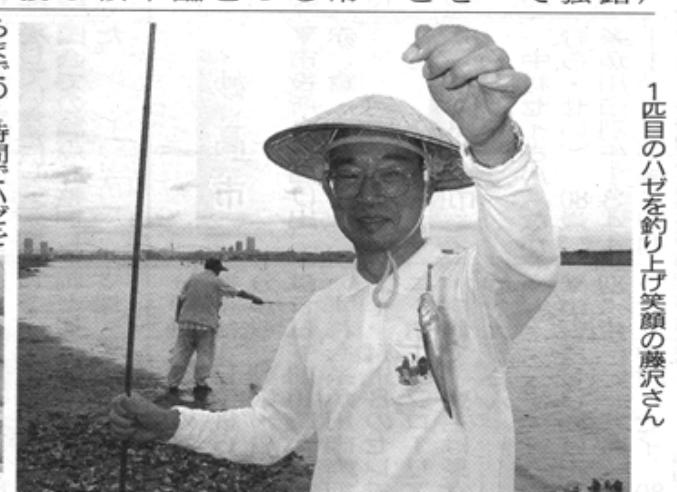
Jネットの学習会は史跡や美術館などの訪問学習が多いため、今日は夏休み最中で家族と一緒に、と企画された。

Jネットの学習会は史跡や美術館などの訪問学習が多いが、今回は夏休み最中で家族と一緒に、と企画された。

これまでの1時間でハゼを30匹釣り上げた。「皆さんはお孫さんと一緒に来てほしかったが残念。非常にしあわせだった。ハゼは川ギスとも呼ぶが、てんぶらが最高。かみさんと義母と3人で食べます」と笑顔だった。



釣り上げたハゼ



1匹目のハゼを釣り上げ笑顔の藤沢さん